

白川村 荻町地区

令和2年度

【地域の概要】

- 村内の農地面積 約114ha うち担い手集積面積は約32ha
- 遊休農地（荒廃農地A分類）面積は26.5ha
- 農業委員12名により利用状況調査など遊休農地対策を実施

取組開始前の状況や課題

- 当該地区は世界文化遺産及び伝統的建造物群保存地区に選定されており、農地の持つ多面的機能の維持・保全だけでなく、景観対策としての維持・保全も重要視されている。
- 地区内の農地は概ね良好に管理されているが、農地一筆あたりの面積が小さく、その形状もいびつなため、一般的な耕作は難しく、特に展望台から死角となる地区内北端の農地の一部（約20a）は、適正な管理が行われず放置されている状態である。

取組内容

- 本村農業委員会による「遊休・荒廃農地解消事業」及び飛騨農林事務所による「農地イキイキ再生週間」の合同事業として、約20aの農地の雑草木除去を実施。



今後の展開と方向性

- 耕作者へ結びつけが可能な遊休農地を解消を進めていく